国土交通省







国土交通省
総合職技術系
ガイド





令和８年度
国土交通省総合職技術系採用担当







Chapter1　国土交通省の概要



首都圏中央連絡自動車道

国土交通省のミッションとは？

多様な「**インフラツール**」を駆使して**“現場”**を動かすことで、
豊かな**暮らし**を支え、**経済**を活性化させる。

国土交通省のミッションとは？

多様な「**インフラツール**」を駆使して**“現場”**を動かすことで、
豊かな**暮らし**を支え、**経済**を活性化させる。

国土を守り形作る

- 防災インフラ整備
- 災害対応、復旧・復興
- 老朽化対策





暮らしを支え豊かにする

- 交通ネットワーク構築
- まちづくり・景観
- 安全対策・環境対策





経済を活性化する

- 効率的な物流の実現
- 地域建設業の活性化
- インフラ海外展開





ミッションの実現に向けた主な手法

法律

既存の社会ルールを変えるため、新たな法律の作成や、既存の法律を改正
(例：流域治水の実現を図るため、流域治水関連法を整備)



流域治水関連法に基づく
「流域治水」の本格的実践

予算

財務省に予算を要求し、必要な予算を確保

予算を元に、様々な事業を推進



予算概要資料

税制

財政措置を通じて、社会のあり方を改善
(例：環境性能に優れた自動車の普及を促進するため、エコカー減税や導入補助を実施)



トヨタＦＣバス
（トヨタ・日野）



プリウスPHV（トヨタ）

直轄事業

現場事務所を通じて、直轄事業を実施



港湾



橋梁

私たちの暮らしと国土交通行政との関係

国土交通省
シンボルマーク

今日、朝起きてからの行動を思い出してみましょう！

建築物の安全性



上下水道の整備



地図の整備・提供



建築物の安全性



起床 → 朝食 → 準備 → 移動 → 到着

物流（海運・トラック・鉄道・航空輸送）





道路、都市計画



交通ネットワーク



全ての国民の暮らしに密着

だからこそ

国交省の施策が、”日本での豊かな暮らしの維持・発展“に貢献していることを、

国民も、働く国交省職員も、実際に見て感じることができる

国土交通省の組織

【本省】（霞が関）
- 大臣、副大臣、政務官
- 事務次官、技監、審議官
- 大臣官房＋１３の部局
- 政策統括官、国際統括官



第30代
国土交通大臣
井林 辰憲

【地方支分部局】
- 地方整備局、北海道開発局【北海道～九州】
- 地方運輸局【北海道～九州】
- 地方航空局【東京、大阪】
- 航空交通管制部【東京、神戸、福岡】

【特別の機関】
- 国土地理院【つくば市】
- 海難審判所【霞ヶ関】
- 小笠原総合事務所【東京都小笠原村】

【施設等機関】
- 国土交通政策研究所【霞ヶ関】
- 国土技術政策総合研究所【つくば市、横須賀市】
- 国土交通大学校【東京都小平市、千葉県柏市】
- 航空保安大学校【大阪、宮城】

外局

観光庁
魅力ある観光地の形成、
国際観光の振興

気象庁
災害防止等のための
的確な気象情報の提供

運輸安全委員会
事故等の原因究明、事故等の
再発防止のための勧告

海上保安庁
海洋秩序の維持、
環境保全、海洋調査

組織全体で約６万人の職員が在籍（うち約半数が技術系！）

国土交通省（本省）の部局



大臣官房

法令、人事、予算の調整、
国交省全般の業務運営の
総合マネジメント



総合政策局

公共交通、環境、
バリアフリーなど
分野横断的な政策のかじ取り



国土政策局

国土の利用・保全の
企画立案、地方の振興



不動産・建設経済局

土地の有効利用の推進、
建設・不動産業の活性化



都市局

都市の再生、多様性のある
まちづくりの推進



水管理・国土保全局

災害に強い国づくり
上下水道の整備



道路局

安全で快適な道路の整備、
道路ネットワークの構築



住宅局

良質な住宅居住環境の形成、
住宅市場の環境整備



鉄道局

安全・安心な鉄道輸送の確保、
鉄道ネットワークの維持・強化



物流・自動車局

貨物流通の効率化、
自動車運送事業の発展、
自動車の環境・安全対策



海事局

海上輸送の活性化、
海事産業の国際競争力強化



港湾局

港湾の国際競争力強化、
海域環境の保全と地域振興



航空局

航空輸送の基盤整備、
航空ネットワークの充実



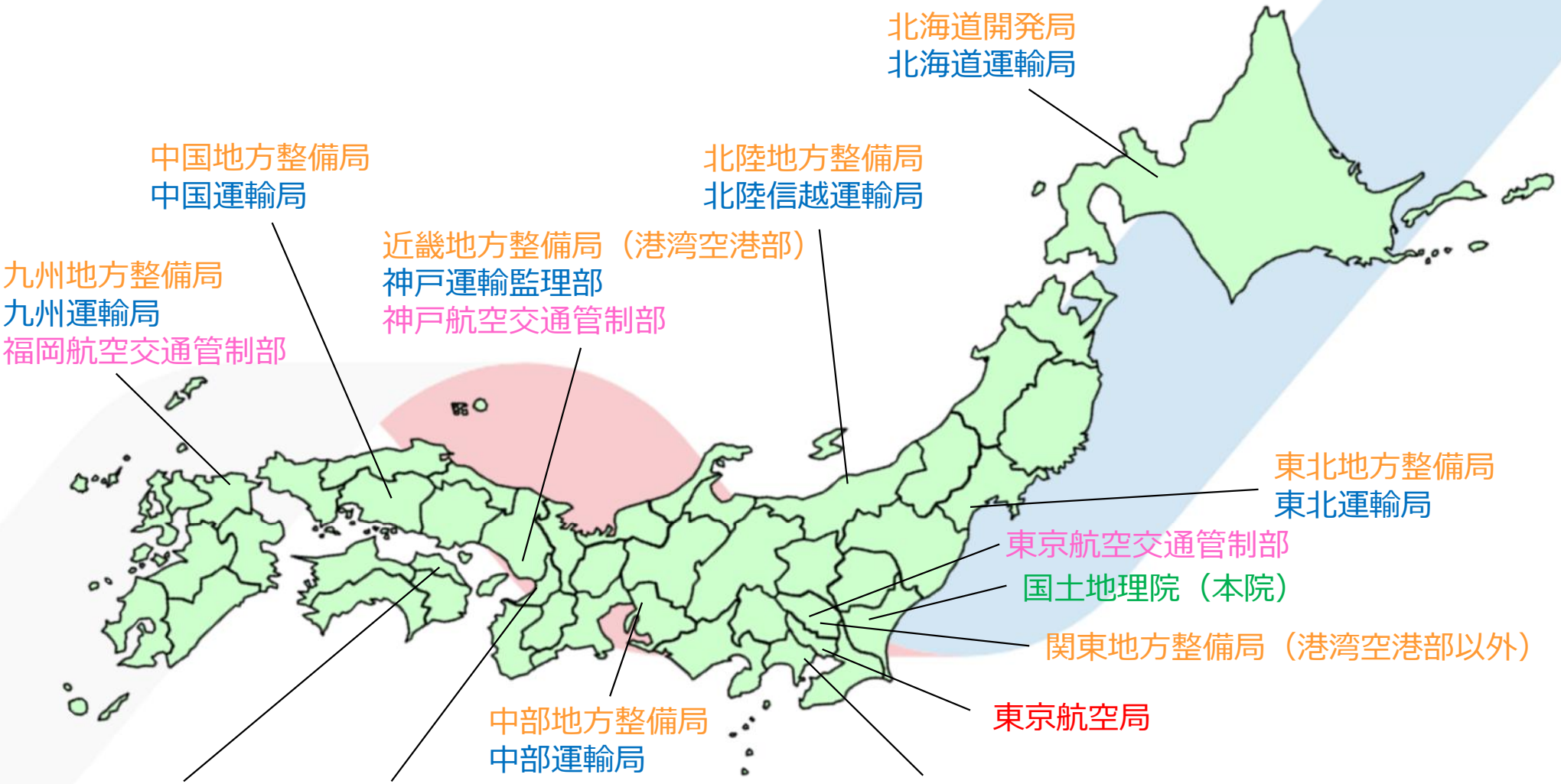
北海道局

北海道の特性を活かした
産業の振興、環境の保全

政策統括官

国際統括官

国土交通省（地方支分部局）の部局



国土交通省の”現場”とは？

本省

全体的な施策の企画立案、
法律改正、予算要求を実施。



本省（合同庁舎２・3号館）



国土交通白書

地方支分部局

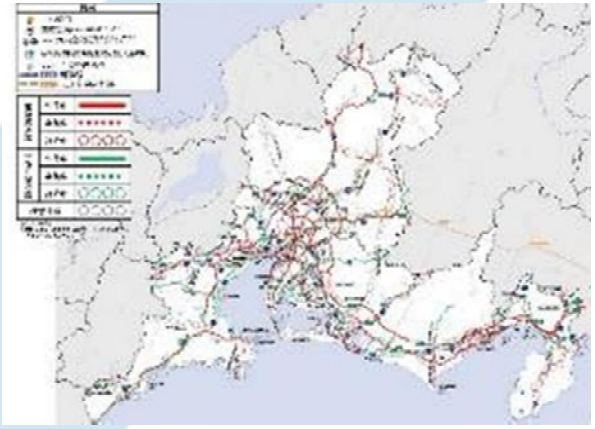
地方整備局等（本局）

地方の取りまとめ

各事務所の現状を踏まえ、
本省との調整を実施。



近畿地方整備局
（大手町合同庁舎）



広域道路ネットワーク計画図
（新広域道路交通計画 中部ブロック版より）

事務所等

事業の担い手

直轄事業の実施にあたり、
調査・計画・設計・工事・管理等
を実施。



能登復興事務所設立



港湾整備事業
(関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所)

Chapter2　国土交通省でできること



客船

国土交通省で「できること」 ～支えるから攻めるまで～

支える

ユニバーサルデザインの実現



住宅セーフティネットの構築





防災・減災、国土強靱化



海上保安体制の強化

攻める

ドローン、自動運転など
新技術の実装



首都圏空港の
国際競争力強化





3D都市モデルの整備等による
まちづくりのDX



交通、物流、建設分野の
脱炭素化・GX

暮らしを支える・弱者に寄り添う政策から、経済成長を牽引する政策まで

※写真は国土交通白書等より

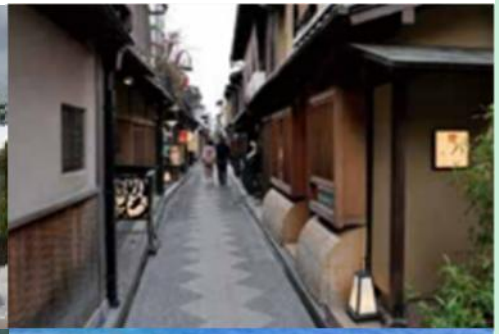
国土交通省で「できること」 ～ローカルからグローバルまで～

LOCAL

地域の公共交通の確保



歴史・景観まちづくりの推進





建設業、運送業などの
働き方改革



観光資源の磨き上げ
観光地域づくり

GLOBAL

都市開発の海外展開



鉄道等の交通システムの輸出

訪日プロモーション





国際クルーズの受入環境整備

地域を元気に・豊かにする政策から、世界を舞台にした政策まで

※写真は国土交通白書等より

国土交通省で「できること」｜まちづくり

国土交通省
本省

都市局
公共交通部門
水管理・国土保全局
道路局、官庁営繕、鉄道局
…

国土交通省
地方整備局
地方運輸局
事務所

地方公共団体

知事・副知事、市長・副市長
戦略企画部長・課長
交通・まちづくり部長・課長
…

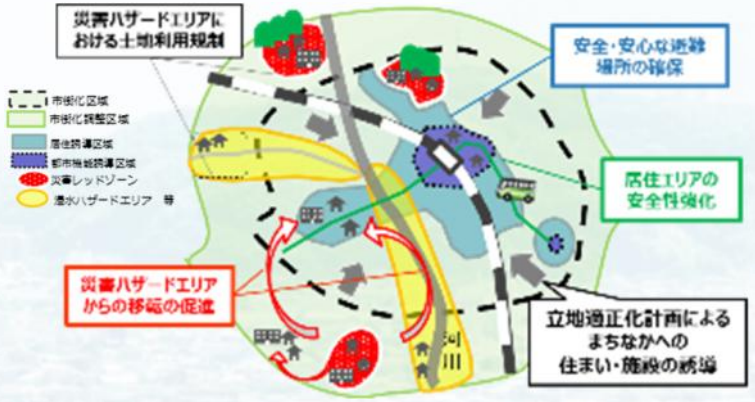
UR
（都市再生機構）
MINTO
（民間都市開発推進機構）

出向

民間事業者

民間出向

都市局 コンパクト・プラス・ネットワークの推進



道路局、水管理・国土保全局


ほこみち
（熊本県熊本市）


閖上地区かわまちづくり
（名取川水系名取川）

官庁営繕 街づくりに寄与する官庁施設の整備



筑西しもだて合同庁舎（茨城）


にぎわう庁舎前広場

国土交通省で「できること」｜海外インフラ展開

国土交通省本省
国際統括室
各局
…

在外公館アタッシェ
出向

JICA
（国際協力機構）
出向

民間事業者
民間出向

独立行政法人等
UR都市再生機構、鉄運機構、
成田空港会社、NEXCO…
出向

JOIN
（海外交通都市開発
事業支援機構）
出向

国際機関
国連自動車基準
調和世界フォーラム…
派遣

相手国政府
専門家派遣

国際会議
世界経済フォーラム
モビリティスチュワード

受注プロジェクト例

モンゴル｜新ウランバートル国際空港運営

成田国際空港を含む日本企業
連合が同空港の運営に参画。
令和3年7月開港。



インドネシア｜マカッサル高速道路管理運営

NEXCO西日本が参画。
JOINも出資しPPP案件への
参入を促進。



マダガスカル｜トアマシナ港拡張

総理、国交省政務等による
粘り強いトップセールスが奏功。



ベトナム｜ハノイ市エンサ下水道整備

日本企業が優位性を有する技術
を活用した案件形成に成功。



国土交通省で「できること」｜防災・減災

内閣府
防災担当
防災総合戦略
※国交省職員多数出向

本省
国土交通省
水管理・国土保全局
地震・津波・水害対策
（ハード整備・避難）

本省
国土交通省
都市・住宅・道路局等
災害に強い都市づくり
耐震・防火
人流・物流の確保
復旧・復興

地方機関
国土交通省
地方整備局等
地方自治体の
技術支援

国土交通省
気象庁
気象・地震
情報発信

自衛隊
警察　消防
厚労(医療)
環境（廃棄物）

地方公共団体
自治体レベルの
災害対策
避難・生活支援
復旧・復興

流域治水プロジェクト｜ハード・ソフト対策

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、河川管理者だけでなく流域に関わる関係者が協働して水災害対策を実施



TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）　｜ソフト対策

大規模自然災害により自治体だけでは対応困難な場合に、地方整備局職員等による隊員が、全国から被災地へ出向き、被災状況把握、二次災害の防止、早期復旧等に対して技術的支援

国土交通省技術系の強み・やりがいとは？

技官の力が不可欠な業務

►技術的な根拠・妥当性が方向性を決める仕事
　専門性を活かした立案・判断・遂行が求められる
►地元住民や議会に解りやすく説明するには知識が必要





中央と現場、多様な職員の対流で政策を生みだす

►総合職・一般職・研究職、誰でも本省・現場・研究所・海外に
►土木、機械、農学…と多様な専門を持った職員と肩を並べる
　各地方のベテラン・エースが本省に集まり、活発な議論
►現場の課題 → 本省で制度設計、
　本省の新制度 → 現場に適用・検証　の好循環
►直轄の現場を持っているからこそのスピード感、現実感




新しいことにも挑戦できる

►新技術の開発・実装、ニーズに合わせた技術研究開発
►変化のスピードについて行くためにも若手の活力が重要




社会の土台、文字どおり「世のため 人のため」

►スケールの大きな仕事も、身近な暮らしを支える仕事も
►日々の業務がすぐに新聞やニュースに



Chapter3　採用・キャリアパスについて



ひたち海浜公園

「技術系官僚」として

技術的知見に基づき、
政策立案の根幹を担う



行政官

×



専門家

教養・行政スキル

○政策ツール（予算・法令など）　○倫理観
○論理的思考能力　○コミュニケーション能力

技術力・専門性

総合職技術系の業務分野

●国土交通省総合職技術系では、技術的知見に基づき、政策立案の根幹を担うことが求められるため、
１２の業務分野を設定。（官庁訪問も各分野で実施　※複数分野の併願可能）

①自動車・海事・航空

自動車・海事・航空の各モードにおける安全性・環境適合性を担保



②鉄道

鉄道の安全確保・基準の策定、技術開発、新幹線・リニア整備



③電気通信

電気通信情報施設やシステムの企画立案、整備、管理



④営繕（公共建築）

国の建物（官庁施設）の整備や適正な保全



⑤建設機械・施工

建設現場の施工の高度化、機械類の整備・運用



⑥住宅・建築・都市・まちづくり

建築物の安全・環境対策、安心して暮らせる住環境の実現



⑦港湾・空港・鉄道

新技術の社会実装等を通じた国際競争力強化の推進



⑧土木

社会資本整備事業の計画・事業・管理等を推進



⑨北海道開発（農業）

農業農村整備を中心に、北海道開発を推進



⑩砂防

土砂災害から国民の生命・財産を守るための対策を推進



⑪造園

国営公園の整備、都市公園・都市緑地や農地の保全



⑫国土地理院

社会の基盤となる地理空間情報を整備、活用の推進



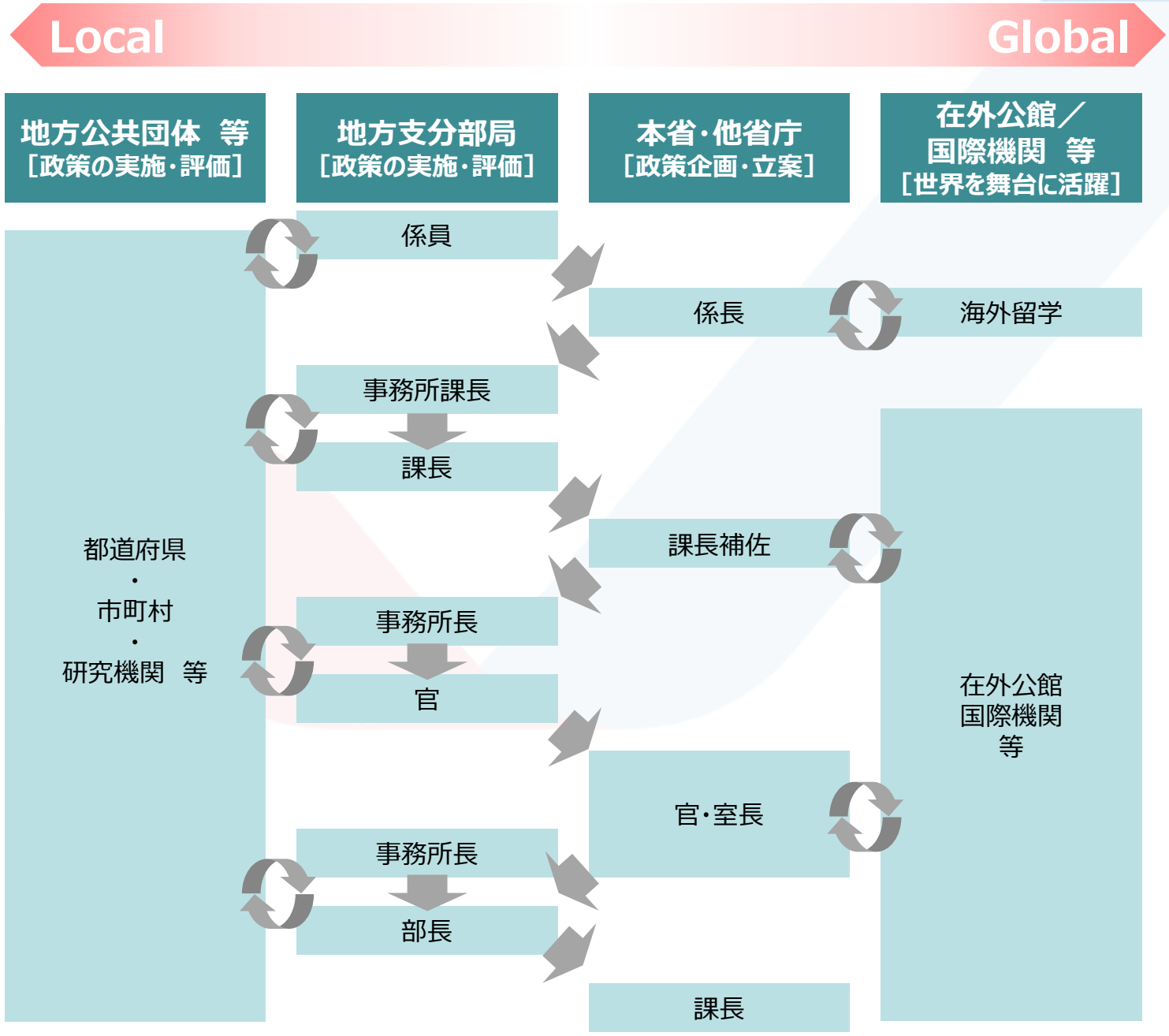
総合職技術系職員のキャリアパス（一例）

係員
政策立案や予算・法令・税制事務を通じ、政策ツールを経験

係長
よりオリジナリティのある政策立案

課長補佐
政策企画・立案の中心

室長・課長
管理職として、より責任のある立場へ



キャリアパス：活躍の舞台①

地 方 機 関

地方整備局・地方運輸局　等

●地域の社会資本政策・交通政策に関するプロジェクトを統括。
●地域ブロック全体をマネジメントし、本省との調整を担う。

キャリア例：

九州地方整備局　河川計画課長
中部運輸局　自動車技術安全部長



事務所

●個別事業を発注者として実施・監督をする現場。
●地域づくりや災害対応の最前線。

キャリア例：

中国地方整備局　岡山国道事務所長
九州地方整備局　長崎港湾･空港整備事務所長



キャリアパス：活躍の舞台②

地方公共団体・海外勤務

市町村・都道府県

●国交省で培った広域な経験を活かし、まちづくりのプレーヤーとして従事
●将来的に全国的な制度設計をするための視点・考え方を学ぶ。

キャリア例：
宮崎県 県土整備部 高速道対策局長
宇都宮市 副市長
新潟県 交通政策局長



在外公館（アタッシェ）

●大使館等で、科学/経済等の専門分野を担当。インフラプロジェクトの情報収集等を行う。

JICA専門家

●JICA（国際協力機構）の専門家として、現地国の技術基準や都市計画等への技術的助言や指導を行う。

国際機関

●国際的な技術基準の策定や、加盟国間共通認識の醸成に関与。
ADB（アジア開発銀行）、 OECD（経済協力開発機構）
IMO（国際海事機関）、UNESCO（国連教育科学文化機関）等

留学

キャリアパス：活躍の舞台③

研究機関・他省庁

研究機関

●政策企画立案にあたり、科学的・技術的な根拠の整備が不可欠。
技術官庁としての政策の妥当性を支える研究に従事。

出向先の例：
国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人　土木研究所

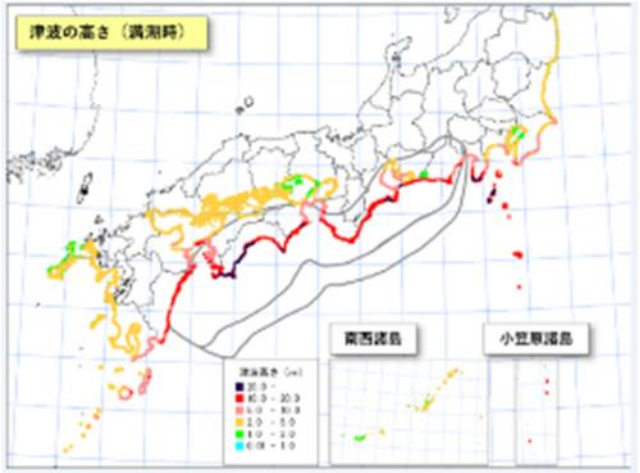


建設現場において、ICT技術を全面的に活用する取組みとして、新たな測量・建設技術等を研究

他省庁

●他省庁に出向し、技術的判断を要する政策の企画立案や災害対応など技術官庁の最前線で活躍。

出向先の例：
復興庁、環境省、農水省
内閣府（防災関係など）
内閣官房（国土強靱化推進室など）



図：南海トラフ被害想定 ※内閣府防災ホームページより

研修制度

キャリア形成のための主な研修（若手職員向けのみ抜粋：令和７年度実績）

（人事院主催）

・国家公務員合同初任研修【1年目向け： ２日間】
・初任行政研修【 1年目向け： １４日間】
・初任行政フォローアップ【 3年目向け： ４日間】

（国土交通省(国土交通大学校)主催）

・専門課程 建設技能実習【1年目向け：1日間】★
・総合課程 新採用職員（総合職）【1年目向け：10日間】
・専門課程 ITリテラシー【1年目向け：月１回程度(４日間)】★
・初任土木技術コース【2年目向け： ３日間】★
・総合課程 政策企画教養【2年目向け：12日間】
・総合課程 初級マネジメント【5年目向け：3日間】
・専門課程 土木技術【 6年目向け：2日間】★

※★は一部職種のみ



国土交通大学校 小平本校



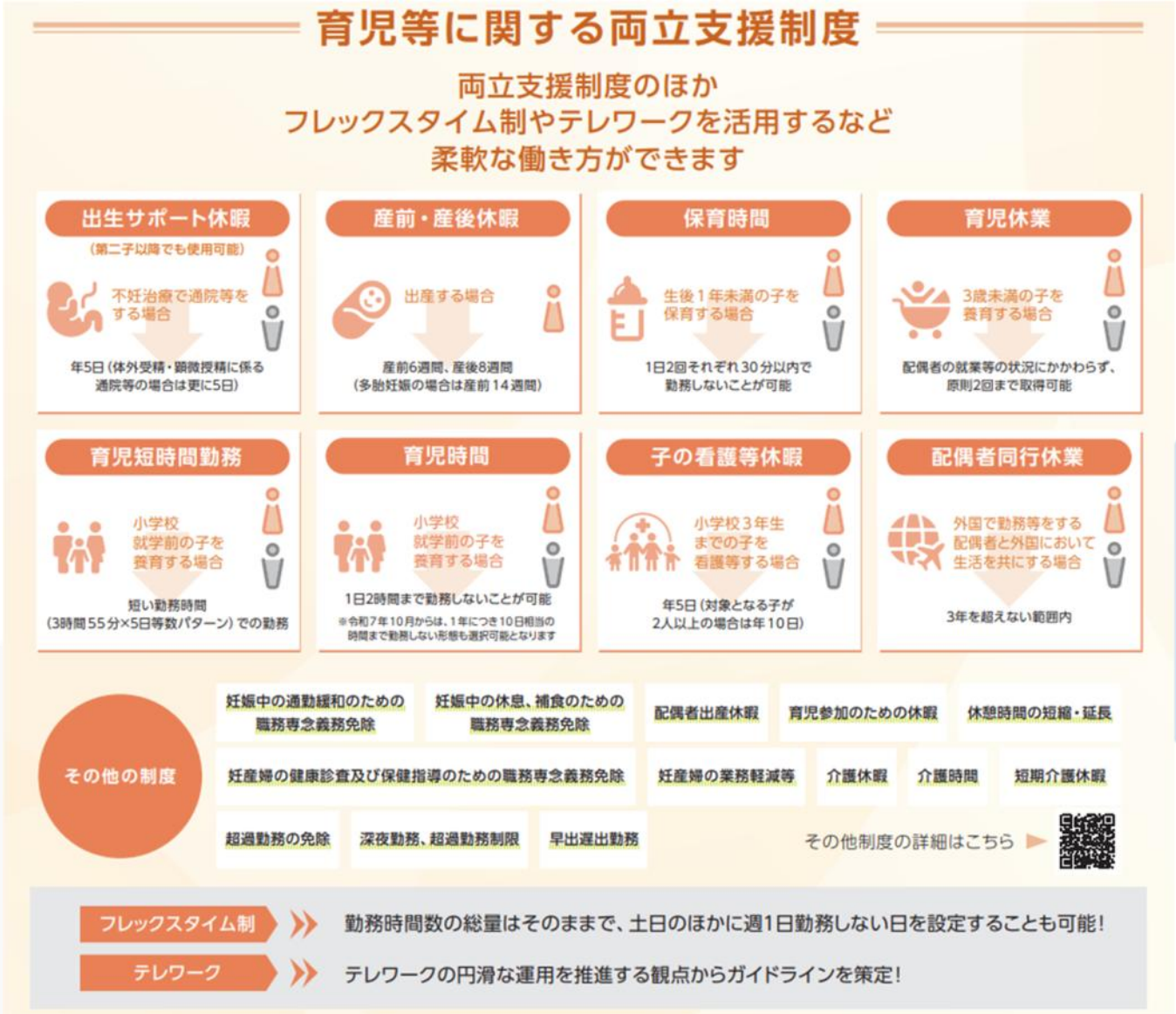
国土交通大学校 柏研修センター

このほか、各分野の第一線で活躍する様々な分野の大学学長・教授、法律等の専門家、大手企業・最先端企業・NPOの代表等による、国土交通行政に関する様々な研修を年間約210コース開催。
研修コースの詳細は、国土交通大学校のHPを参照。(https://www.col.mlit.go.jp)

（外部講師の例）東京大学、京都大学、中央大学等教授、 法律事務所弁護士、（株）三菱総合研究所担当部長、
日本総合研究所（株）主席研究員、サントリーホールディングス（株）課長、中日本高速道路（株）担当課長、
（独）国際協力機構（JICA）、（公社）土木学会、NHK記者、気象キャスター 等（延べ 1,500 名程度）

ワーク・ライフバランス / 給与・休暇制度について

■国家公務員が利用できる主な支援制度



引用：人事院「国家公務員総合職試験ガイド2026」

■給与（総合職の場合）

●俸給月額（基本給）

大学院を修了して入省する場合
255,600円

大学を卒業して入省する場合
242,000円
（R7人事院勧告より。）

＊上記とは別に、各種手当(地域手当、本府省業務調整手当、住居・通勤手当、期末・勤勉手当(ボーナス)、超過勤務手当(残業手当)　等)があります。

【参考】本省で勤務する場合の初任給（総合職）
(俸給月額に地域手当(20%)、本府省業務調整手当を合計したもの)

大学院を修了して入省する場合：317,520円
大学を卒業して入省する場合　：301,200円

■休暇制度

休日：土・日・祝、年末年始(12/29~1/3)

主な休暇：
①年次休暇(年20日間)
②特別休暇
夏期休暇、結婚、産前産後、出産、育児参加、ボランティア　等
③病気休暇

ワーク・ライフバランス実現に向けた働き方

働き方①　家庭との両立

道路局　企画課　課長補佐（入省１９年目）

家庭と仕事の両立のために、フレックスタイムやテレワークなどの両立支援制度や、家事代行などの民間サービスをフル活用しています。同僚や部下には育児中の職員も多く、相互にフォローし合いながら効率的に業務に取り組んでいます。個人的なライフワークとして、職務外のプロジェクトなどにも積極的に参加しています。



働き方②　会議におけるデジタルツールの活用

港湾局　技術企画課　係長（入省４年目）

当課では、会議資料のデジタル配布や、オンライン併用とするなど、デジタルツールを活用した会議を実施しています。これらの取り組みにより、会議資料の印刷等の準備が不要になることや、職員の生活・業務の状況に合わせた出席方法を選択することができるなど、会議に関わる職員の業務負担が軽減出来ています。



働き方③　二拠点居住について

北海道局　参事官付　開発専門官（入省１３年目）

出先機関の北海道開発局配属時に北海道で自宅を取得し、昨年４月から本省勤務となり、現在、単身赴任しています。今の職場はWLBが整っており、小さい子供の育児サポートのため、月２回程度、北海道の自宅に計画的に帰省できています。私の所属部署は単身赴任者が多く、空港で上司や同僚にたびたび会いますへへ

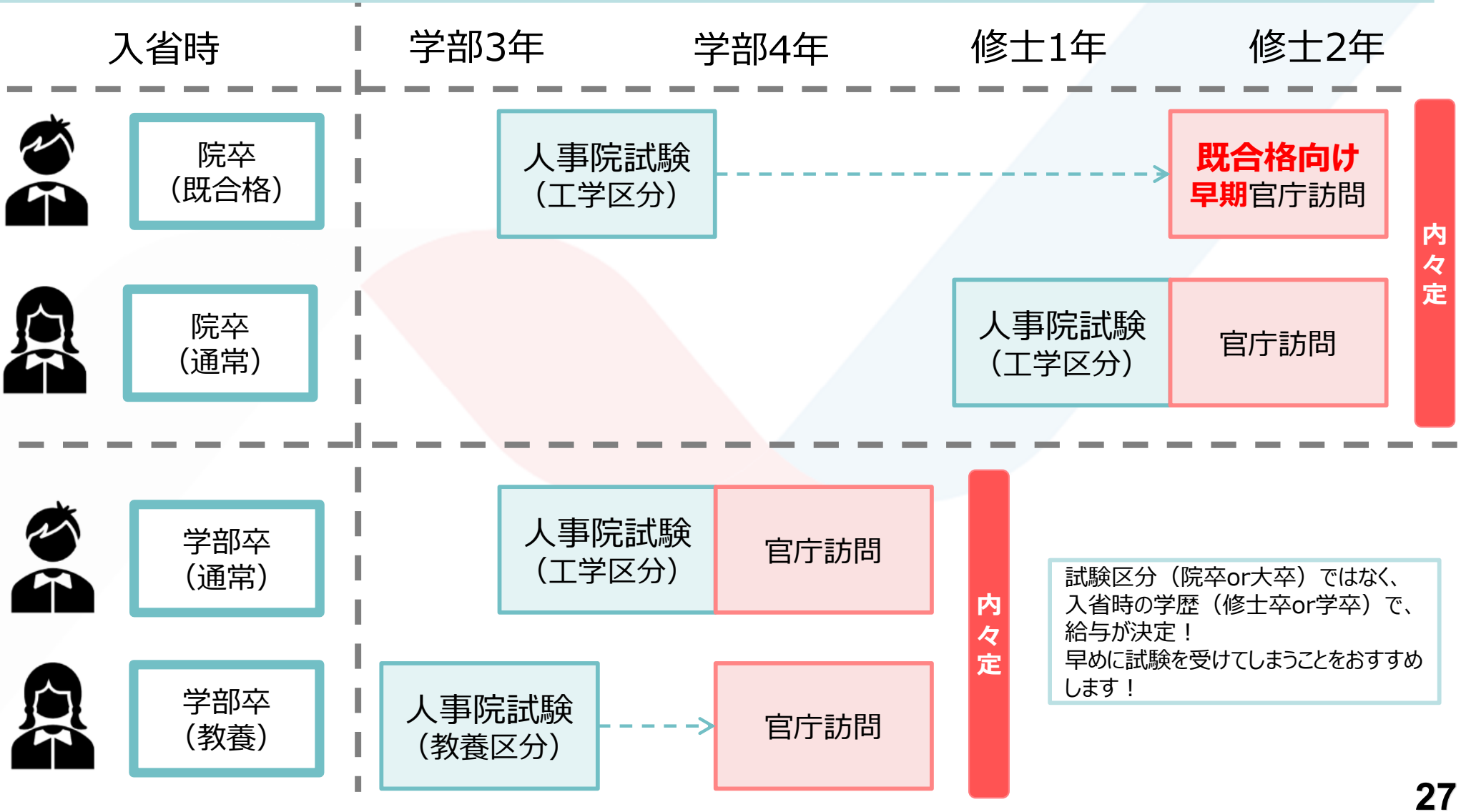


※本スライドの記載内容は2025年2月時点のものです。

採用までの流れ

2026年度実施
官庁訪問の場合

●内定・採用までには下記２ステップを満たすことが必要
ステップ１：人事院が実施する**国家公務員総合職試験に合格**
ステップ２：**官庁訪問**（各省庁が行う面接等）で志望先省庁の選考**に合格**



試験区分（院卒or大卒）ではなく、
入省時の学歴（修士卒or学卒）で、
給与が決定！
早めに試験を受けてしまうことをおすすめします！

ステップ１：人事院試験

2026年度実施
官庁訪問の場合

- 人事院試験は工学区分や森林・自然環境区分等の**専門区分**と**教養区分**の大きく２つに分けられる。
- **教養区分**は19歳から受験可能で、春・秋の年2回試験があることが特徴。

2026年

	2/2～2/24	3/15	3/30	4/12	4/20～5/15	5/29	
専門区分（工学等）	受付申込期間	**１次試験** **基礎能力試験**（多肢選択式） **専門試験**（多肢選択式）	1次合格発表	**２次試験** **専門試験**（記述式） ※大卒程度試験のみ※ **政策論文試験**（記述式）	**２次試験** **人物試験**（個別面接） ※院卒者試験のみ※ **政策課題討議試験**（グループディスカッション）	最終合格発表	官庁訪問
教養区分		**１次試験** **基礎能力試験**（多肢選択式） **総合論文試験**（記述式）		**２次試験** **企画提案試験**（資料作成/発表）	**２次試験** **人物試験**（個別面接） **政策課題討議試験**（グループディスカッション）		

合格は**5年間**有効!!

合格は**7年間**有効!!

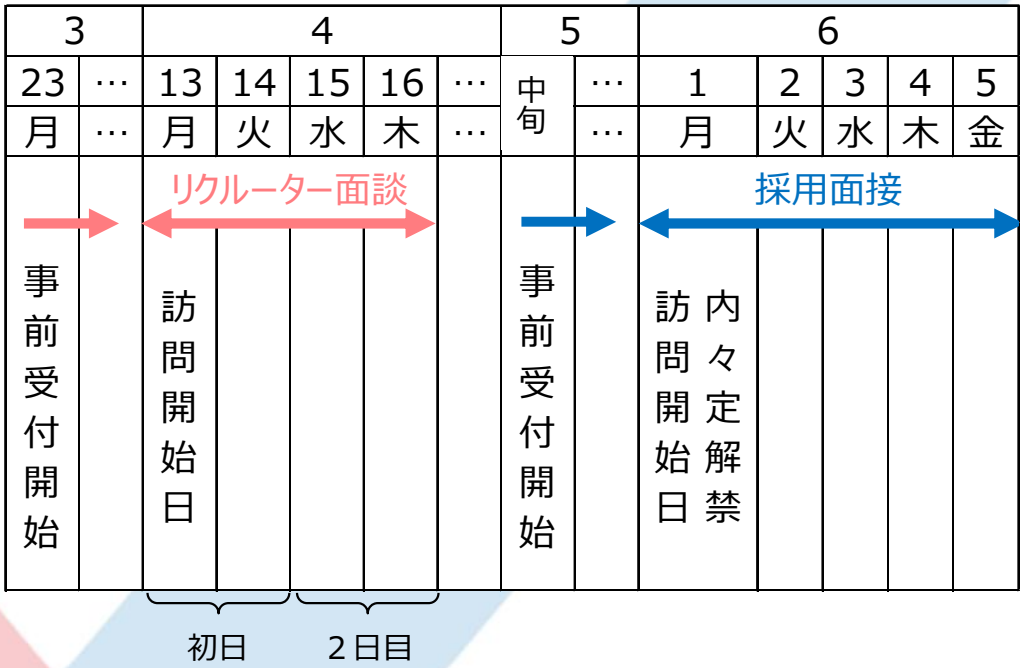
ステップ２：官庁訪問（既合格向け早期）

2026年度実施
官庁訪問の場合

●国土交通省総合職技術系では、**既合格者向け**の早期官庁訪問を、2026年度から**リクルーター面談と採用面接に分けて実施。**

【リクルーター面談】※2026年度新制度

- 志望省庁の業務に対する理解を深めるとともに、組織文化への適合性を判断する機会を提供するために実施。
- 訪問者の多くの省庁に触れる機会とするため、同一省庁には一人当たり２日間まで訪問可能。
- **各府省等への理解を十分に深めた上で、6月の採用面接に臨むことで、採用プロセスが短縮されることが期待。**



【対象者】

2023年度・2024年度・2025年度
総合職試験　合格者
（院卒者試験又は大卒程度試験）

【実施方法】<u>事前予約制</u>で実施

<u>(1)リクルーター面談</u>

申込期間：**3月23日(月)９時**受付開始
日　　程：4月13日(月)～4月16日(木)
※初日・２日目は以下を想定。組合せ自由
・初日　→4月13日(月)、4月14日(火)
・２日目→4月15日(水)、4月16日(木)

<u>(2)採用面接</u>

申込期間：**5月18日（月）**受付開始
日　　程：6月１日(月)～6月5日(金)
内々定解禁：6月1日(月)以降

※官庁訪問ルールの詳細は、人事院HPにて確認すること
https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/sougou/saiyo_sougou02.html#C1

※国土交通省マイページにより予約受付
https://mlit-recruit.snar.jp/index.aspx

ステップ２：官庁訪問（既合格向け早期）

2026年度実施
官庁訪問の場合

●国土交通省の官庁訪問においては、**最大３つ**の分野に併願が可能。
※地理院は「つくば」で実施予定のため、⑫地理院を含む場合は、最大２つ。
●国家公務員試験の試験区分については、●がついている区分で合格することが”必須”

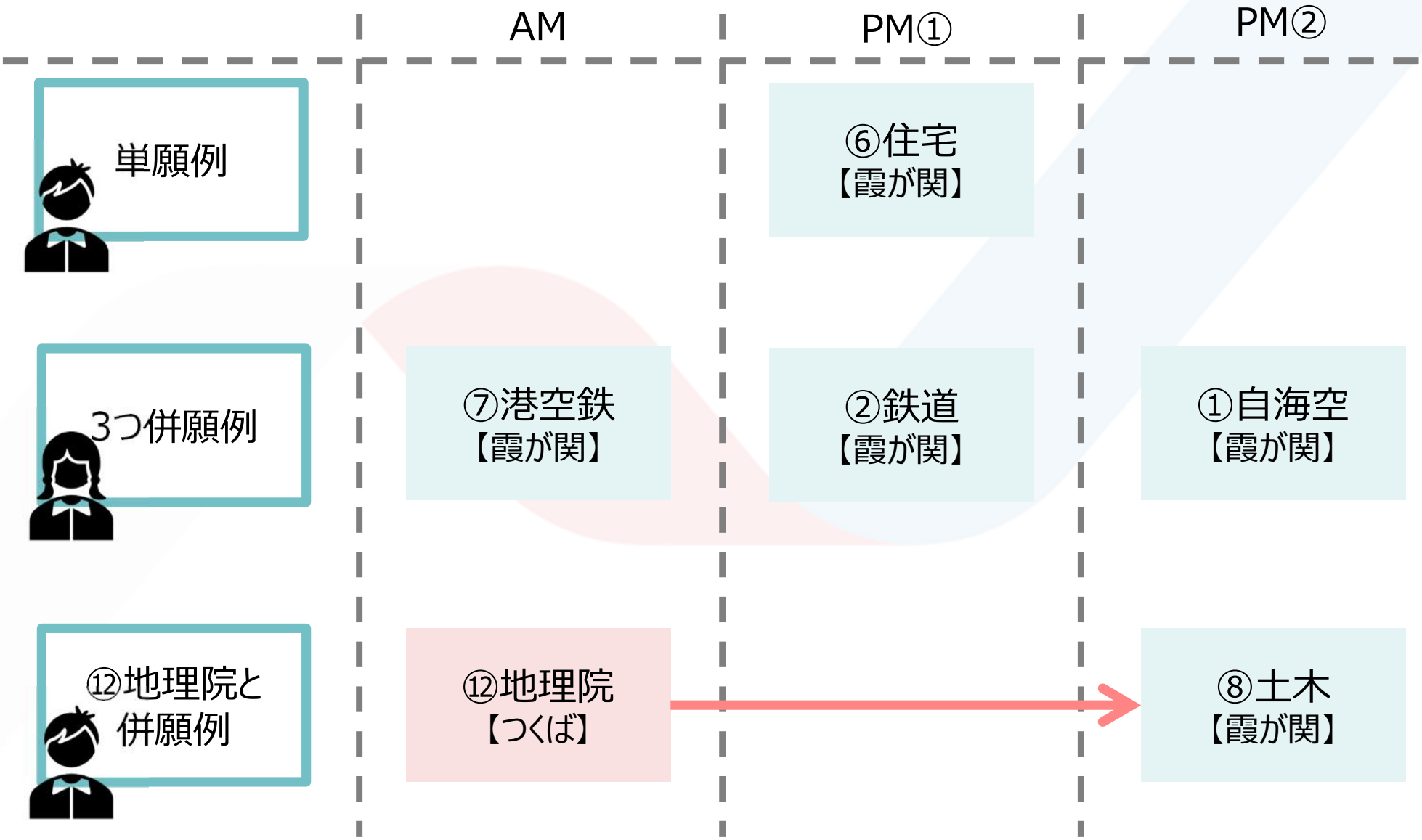
業務分野	公務員試験の試験区分								官庁訪問の実施場所
	工学	デジタル	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	教養	
① 自動車・船舶・航空機・鉄道の安全・環境対策及び技術開発関係、航空交通システム関係	●	●	●	●	●	●	●		霞が関
② 鉄道の整備、安全・環境対策及び技術開発関係	●	●	●	●	●	●	●		
③ 災害時通信、河川・道路管理システム、電気通信施設関係	●	●	●	●	●	●	●		
④ 営繕（公共建築（建築、電気・機械設備））関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑤ 建設革新技術（ICT・AI・XR）、建設機械、河川・道路管理施設（機械設備）関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑥ 住宅・建築・都市・まちづくり関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑦ 港湾整備関係、空港整備関係、鉄道整備関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑧ 河川整備関係、道路整備関係、上下水道整備関係、都市・まちづくり関係、港湾整備関係、空港整備関係、鉄道整備関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑨ 主に北海道における農業農村整備関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑩ 土砂災害対策関係	●	●	●			●	●		
⑪ 都市公園整備、緑地保全・緑化推進、景観・歴史まちづくり関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑫ 国土地理院	●	●	●	●	●	●	●		つくば

※2026年度既合格者向け官庁訪問では、教養区分は対象に含まれません。

ステップ２：官庁訪問（既合格向け早期）

2026年度実施
官庁訪問の場合

●全事前予約者の希望を踏まえ、採用本部にて機械的に訪問順を決定。
●**採用されるのは１分野のみ**のため、官庁訪問期間内に意思決定をすることが必要。



ステップ２：官庁訪問（通常）

2026年度実施
官庁訪問の場合

●国土交通省総合職技術系では、総合職試験 の官庁訪問を
2026年6月10日（水）より実施。

【対象者】

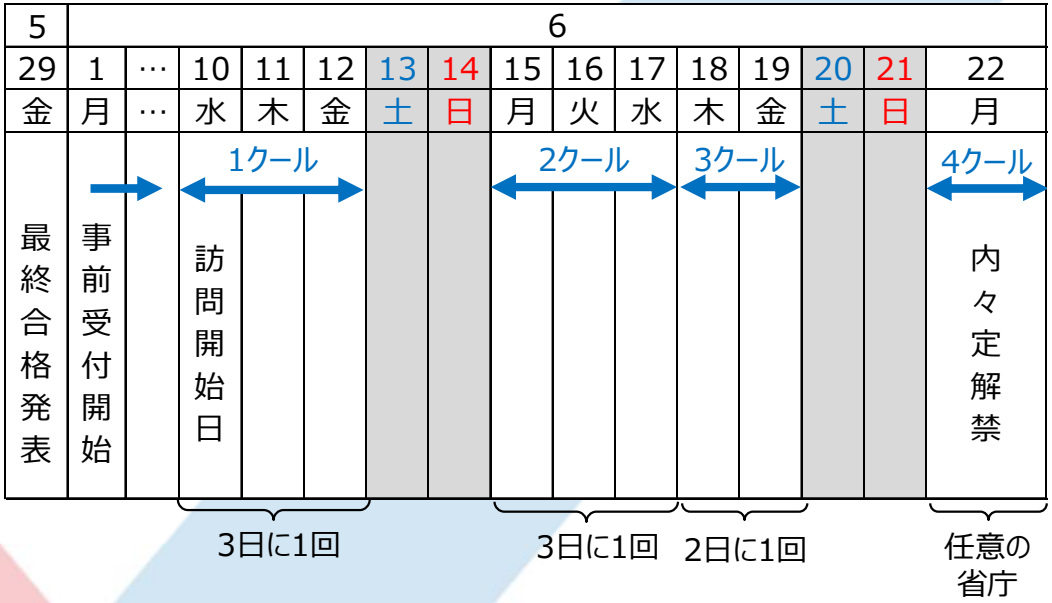
2023年度・2024年度・2025年度・**2026年度**
総合職試験　合格者
（院卒者試験又は大卒程度試験）

【実施方法】

事前予約制で実施
申込期間：**6月1日(月)9時**～
日　　程：6月10日(水)～6月22日(月)

※詳細は国土交通省総合職技術系HP
https://www.mlit.go.jp/saiyojoho/event/synthesis_tech.html

※国土交通省マイページにより予約受付
https://mlit-recruit.snar.jp/index.aspx



【留意事項（官庁訪問ルール）】　※詳細は人事院HPにて確認すること

★内々定解禁は6月22日（月）の午後3時以降
★各クールについて
・6月10日（水）から6月17日（水）までの間、同一省庁への訪問は3日に1回（翌日・翌々日の訪問不可）
・6月18日（木）に訪問した省庁には翌日19日（金）には訪問できない
・6月18日（木）、6月22日（月）は任意の省庁に訪問可能
・土曜日、日曜日は官庁訪問を行わない

ステップ２：官庁訪問（通常）

2026年度実施
官庁訪問の場合

●国土交通省の官庁訪問においては、**最大３つ**の分野に併願が可能。
※⑫地理院は、第3クールから実施場所が変更となる（九段下→つくば）
●国家公務員試験の試験区分については、●がついている区分で合格することが”必須”

業務分野	公務員試験の試験区分								官庁訪問の実施場所
	工学	デジタル	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	教養	
① 自動車・船舶・航空機・鉄道の安全・環境対策及び技術開発関係、航空交通システム関係	●	●	●	●	●	●	●	●	霞が関
② 鉄道の整備、安全・環境対策及び技術開発関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
③ 災害時通信、河川・道路管理システム、電気通信施設関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
④ 営繕（公共建築（建築、電気・機械設備））関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑤ 建設革新技術（ICT・AI・XR）、建設機械、河川・道路管理施設（機械設備）関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑥ 住宅・建築・都市・まちづくり関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑦ 港湾整備関係、空港整備関係、鉄道整備関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑧ 河川整備関係、道路整備関係、上下水道整備関係、都市・まちづくり関係、港湾整備関係、空港整備関係、鉄道整備関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑨ 主に北海道における農業農村整備関係	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑩ 土砂災害対策関係	●	●	●			●	●	●	
⑪ 都市公園整備、緑地保全・緑化推進、景観・歴史まちづくり関係	●	●	●	●	●	●	●		
⑫ 国土地理院	●	●	●	●	●	●	●		九段下→つくば

ステップ２：官庁訪問（通常）

2026年度実施
官庁訪問の場合

●全事前予約者の希望を踏まえ、採用本部にて機械的に訪問順を決定。
●**採用されるのは１分野のみ**のため、官庁訪問期間内に意思決定をすることが必要。

＜例＞第1クール	AM	PM①	PM②
単願例	⑪造園【霞が関】		
3つ併願例	③電通【霞が関】	④営繕【霞が関】	⑤機械【霞が関】
⑫地理院と併願例	⑨北海道農業【霞が関】	⑩砂防【霞が関】	⑫地理院【九段下】

業務分野を詳しく知りたい方は・・・

●採用HPの業務紹介のページに、冊子版の業務紹介を掲載しています。
各分野の職員紹介も掲載！
（https://www.mlit.go.jp/saiyojoho/event/synthesis_tech.html）

採用HP

↓イベント情報はこちらに掲載↓

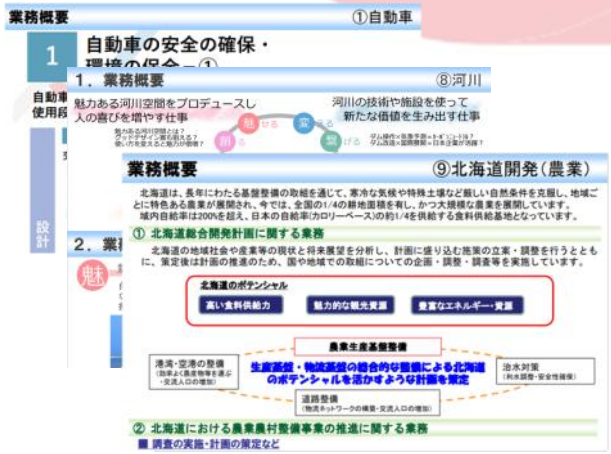


↓業務分野等の情報はこちらに掲載↓

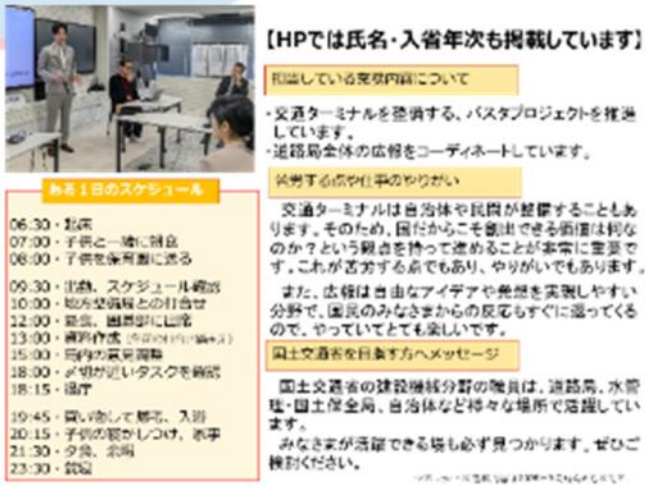


■業務紹介





■職員紹介の一例



職員訪問･OBOG訪問受付中！

●話を聞きたい職員の特徴を記載し、採用担当までご相談ください！



<問い合わせ例>

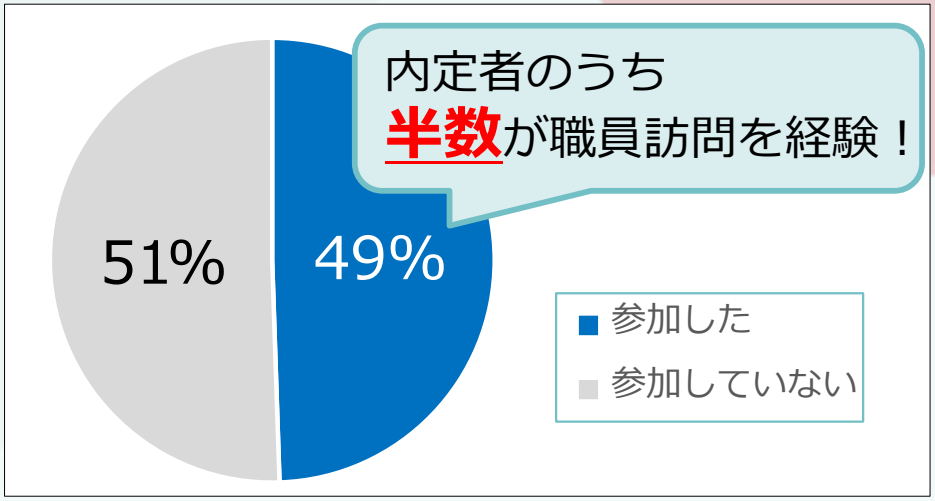
・大学のOB・OGの話を聞きたい…
・業務分野▲番の職員、●●局の職員の話を聞きたい…
・〇〇に関する施策・業務に携わっている職員の話を聞きたい…
・女性職員、若手職員の話を聞きたい…

WEB訪問も歓迎です！



<参考：内定者のアンケート結果>

OBOG訪問や職員訪問の経験率



内定者の声

夏期インターンやOB・OGの総合職の方々とお話しさせていただく中で、**やりがいがありそうだなと感じたことが決め手**です。





同じ大学出身の先輩が活躍している姿を見て話を聞いたことで、**入省後のイメージを想像することができました**。

※令和7年度 国土交通省総合職技術系　内定者へのアンケート結果より

採用情報を詳しく知りたい方は・・・

■ **ホームページ**では業務紹介やイベント情報などを掲載！

国土交通省　技術系　採用	検索

採用パンフレット　採用HP

■ **InstagramやX（旧Twitter）**では

政策コラムや職員紹介を実施中！

フォロー・いいね！をお願いします！

MLIT_RECRUIT　X(旧Twitter)

■ **国土交通省ウェブマガジン Grasp**

（https://www.magazine.mlit.go.jp/）

広報改革プロジェクトとして2018年スタート

国交省関連施策を、ちょっと切り口を変えて紹介

Grasp
produced by 国土交通省

■ **お問合せ先**

総合職技術系採用担当（岩川・古谷・近藤・田中・大鎌）

Mail：hqt-engineer@ki.mlit.go.jp

※各政策の最新の情報については、国土交通省担当部局のホームページ等を参照してください。本資料の無断転載を禁じます。

国土交通省のミッションは、
多様な「**インフラツール**」を駆使して**“現場”**を動かすことで、
豊かな**暮らし**を支え、**経済**を活性化させること。

国土交通省の業務を確実に推進するためには、技術系知見に基づき、
政策立案の根幹を担う**“技官”**の力が必要不可欠である。

これまで培った理系の知識・経験を活かして、
国土交通省で、日本の未来を切り拓こう。



霞が関地区